

# 文学作品から大阪の「うまいもん」を探そう

2015/7/28

27年度夏期公開講座として日本近現代文学作品から大阪の文化、特に「うまいもん」といわれる料理について輪読しました。



今回は大阪の作家として有名な山崎豊子、織田作之助、開高健の他に上司小剣や谷沢永一などあまり知られていないけれども大阪の文学史において重要な人物についても講義をおこないました。

食べ物を求める描写について作家ごとに独特の表現があり、その表現に思わず食べたくなる、飲みたくなる気持ちになってしまいます。

「夫婦善哉」や「鱧の皮」などの物語と大阪の食文化を照らし合わせて説明をしました。



「うまいもん」を食べながらフィールドワークなどもいいかもしれません。